

## 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	開田小学校水車小屋活用整備事業
事業主体 (連絡先)	木曾町 開田支所内 開田教育事務所 (0264-42-3331)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業 (5) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	1,445,535円 (うち支援金: 806,000円)

### 事業内容

開田小学校では文化の継承を目的として児童が「開田科」の授業に取り組んでいる。開田の特色を活かした稲作授業では「馬耕」をはじめ、昔ながらの方法で米作り体験を行っている。一連の授業では、水車を活用して米の精米で全ての作業が完結する。しかし昨年度の大雨により水車が断裂し使用不能となったことにより、水車の活用ができなくなった。水車の役割や構造、使用材料など修繕する過程を利用して児童が学び、古から伝わる水車活用の伝統を継承していくために、一連の修繕工事を行なった。

- ・水車修理 (主軸は既存使用) 直径 2700 mm 幅 410 mm
- ・芝植栽を学校関係者及び地域住民により実施 160 m<sup>2</sup>

### 事業効果

- ①水車小屋を整備することにより、地域や小学校による伝統農耕の学習に利用できる。
- ②④芝生の植栽や周辺景観整備にも努め、芝生の管理や周辺の除草管理などの手入れも学校関係者や地域の方との共同環境整備により、住民の景観意識を高めることができる。またこれにより、写真撮影や絵画スポットとしての活用も期待される。
- ③小学生が水車を修繕する過程を利用して学ぶことにより水車の役割や郷土への理解を深め、開田地域の歴史を学び伝統を継承していくきっかけとなる。
- ④水車が活用できることにより、水車小屋を利用する地域の方や小学生がふれあえる場所となる。

### 今後の取り組み

開田地域の昔ながらの風景・農業活用されている水車小屋の維持管理を地域全体で取り組みながら、開田の特産物であるそばの生産や米作りに利用することにより、開田の歴史と伝統を残していくことに取り組んでいく。

また、引き続き小学校と地域の連携を図り、地域づくりの意識啓発と人材育成に取り組む。



### 【目標・ねらい】

- ①水車小屋を活用するための整備
- ②周辺環境の整備
- ③小学校による伝統農耕の学習
- ④地域共同作業による地域活性

### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

当初の目的の水車活用整備は、計画どおり完了した。今後、老朽化している付属設備等の改修や利用促進方法についての検討が必要。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある